

新潟県の概要

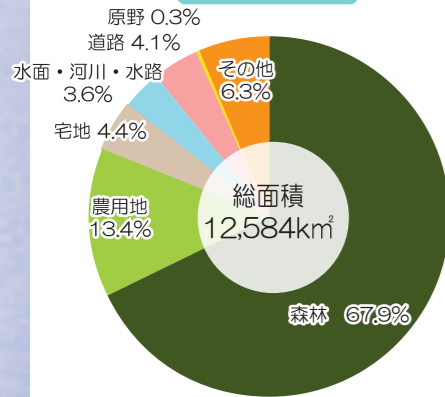
県の位置

新潟県は日本海沿岸のほぼ真ん中に位置し、朝日山地、飯豊山地、越後山脈、西頸城山地及び白馬山地の1,500mから2,000m級の山々に囲まれ、面積は12,583.96km²（内、佐渡島855.68km²、粟島9.78km²）で、北海道、岩手県、福島県、長野県に次いで全国第5位の広さをもつ、南北に長い県です。

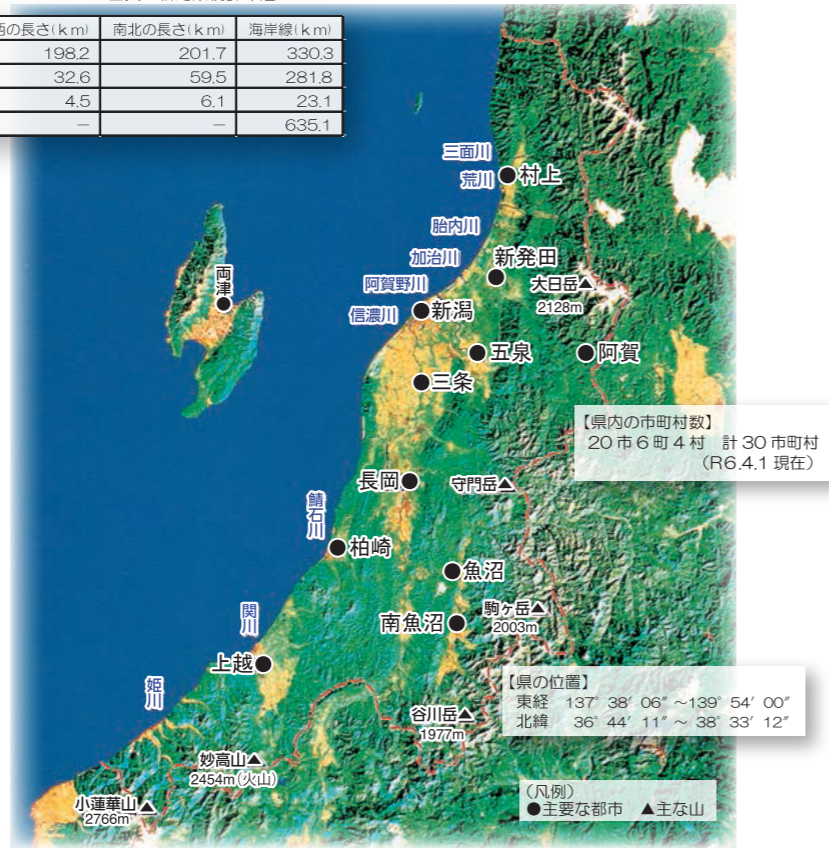
【県の面積・海岸線等】 出典：新潟県統計年鑑2022

区分	面積(km ²)	東西の長さ(km)	南北の長さ(km)	海岸線(km)
本土	11,718.50	198.2	201.7	330.3
佐渡	855.68	32.6	59.5	281.8
粟島	9.78	4.5	6.1	23.1
合計	12,583.96	-	-	635.1

土地利用の様子



出典：土地利用現況把握調査（令和2年）



県の地形

本県は、県境付近に連なる山々が急峻で谷が深く、脆弱な地質と相まって土砂の流出が大きいため、全国一の地すべり地帯となっています。また、これらの山岳に源を発する信濃川、阿賀野川の下流域には、日本海沿岸随一の広大な越後平野、鯖石川下流域には刈羽平野、関川下流域には高田平野などが広がっています。

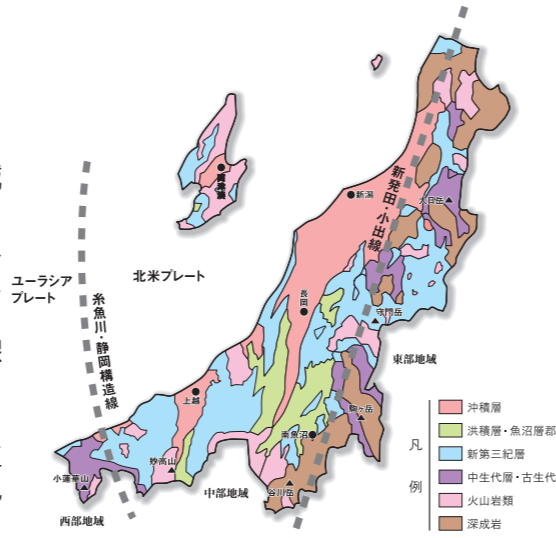
県の地質

本県は、地質の違いにより大きく東部・中部・西部の三地域に分けることができます。

東部地域は、村上市から新発田市・旧小出町さらに魚野川に沿って苗場山（標高 2,145m）を結ぶ線から、東側の古生層と花崗岩類を中心とした地域です。

中部地域は東部地域の境から、いわゆる糸魚川-静岡構造線間の地域で、新第三紀、第四紀層の津川層から寺泊層、椎谷層、西山層のほか、火山岩類や魚沼層群等からなります。

また、西部地域は糸魚川-静岡構造線以西で、中世層・古生層が広く分布し、ほかには相川層群や第四紀火山岩類が見られます。



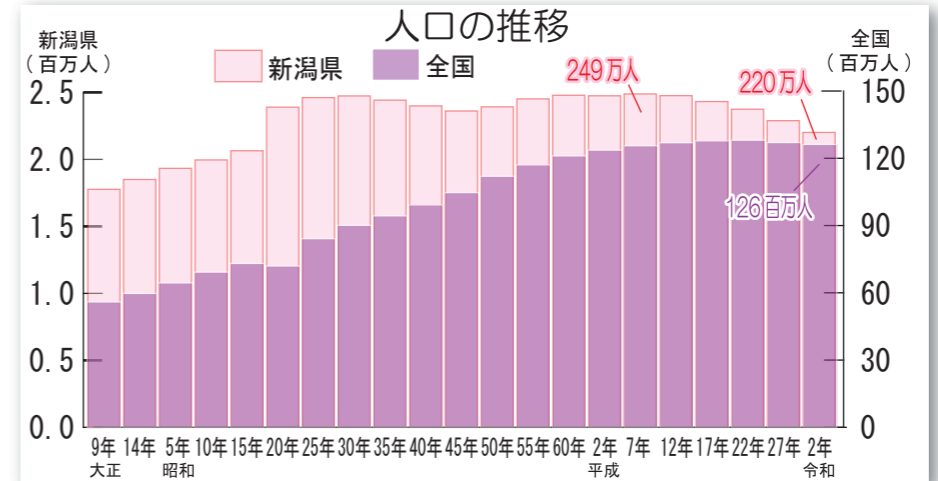
県の人口

本県の人口は、平成7年国勢調査では248.8万人と過去最高となりましたが、令和2年国勢調査では220.1万人となっています。

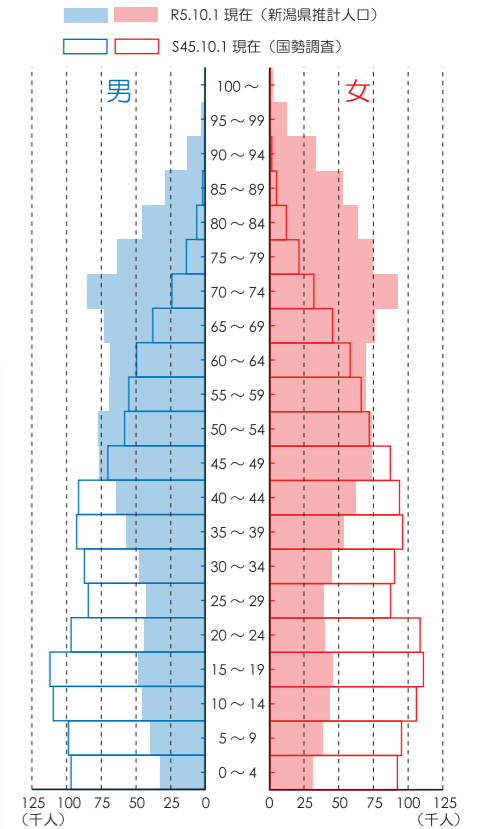
また、令和5年10月1日の推計人口※は212.6万人であり、前年同月と比べると約2.6万人減少しています。このうち、老年人口（65歳以上）の占める割合は33.6%に達しており、少子高齢化が進行しています。

※推計人口とは国勢調査の確定値を基に出生・死亡・転入・転出数を加減し各市町村の人口と世帯数を推計したものです。

出典：総務省国勢調査、新潟県推計人口



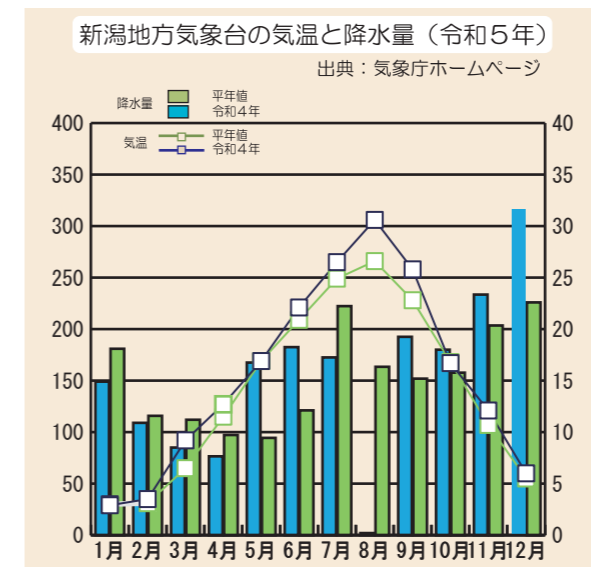
年齢別人口ピラミッド



県の気象

本県は、日本海に面し、山形・福島・群馬・長野・富山の各県との県境を標高 2,000m級の山に囲まれていることから、日本でも有数の豪雪地帯です。

雪やみぞれの降る冬季に年間降水量の半分以上があり、年間降水量は全国平均の1,616mm（※新潟県統計年鑑2022）と比較すると1,846mm（※1991～2020年の平均）と雨量が多い地方です。



※平年値とは「西暦年の1位が1の年から続く30年間（例えば1991年から2020年）の平均値」のことです。平年値は10年ごとに更新し、現在は1991年から2020年までの観測値による平年値を使用しています。

（出典：気象庁ホームページ）

最深積雪平年値 (1991～2020)

